# 令和元年度 財務書類の公表



### 伊方町 令和元年度決算の財務書類(一般会計等)

# 地方公会計制度のはじまり

これまでの地方自治体の会計は、家計簿のような「現金主義」を採用していました。 「現金主義」とは、定められた予算の中で現金を支出するため、予算をまとめやすく、現金の 流れのみを把握していたのです。

しかし、「現金主義」では、資産・負債などのストック情報や減価償却費などのコスト情報が 見えてきません。

全ての資産や負債なども把握するため「発生主義」の考え方が導入されました。それが「地方公会計制度」の始まりです。

きっかけは現実に起こった自治体の財政破綻。

住民への行政サービスの低下を防ぐため、これまでに地方自治体の資産・債務管理に関する公会計整備推進の法律や方針が示されてきました。

国は地方公共団体に対し、「資産・債務管理」「将来の施設の更新維持管理費の把握」を強く求めています。平成18年6月2日に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律(行革推進法)」が施行され、同年8月31日に総務事務次官通知にて発生主義の活用及び複式簿記の考え方の導入を図り、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表を整備することが求められました。

また、公共施設やインフラ設備の老朽化が進行し、合併自治体の交付税優遇措置の期限切れなどによる歳入総額の減少も重なって、それらの更新・維持管理といった公共施設のマネジメントの在り方が喫緊の課題となっています。

このような状況下において、伊方町は国の地方公会計制度を導入し、財務書類4表の作成を行い健全な財政運営に取り組んでまいります。

### ストック情報

資産や負債などの一定時点の状態を表します。

### コスト情報

人件費や物件費などの一定期間の実績の情報を表します。



# 財務書類とは

予算書や決算書などの今までの公会計とは別に、伊方町の財務状況をあらわす新たな取り組みとして、次の財務書類を作成しました。

- ①資産や負債の状況などを表す「貸借対照表」
- ②人件費や減価償却費などの経費を表す「行政コスト計算書」
- ③純資産の一年間の変動内容を表す「純資産変動計算書」
- ④資金収支の状況を性質別に3つの区分に表す「資金収支計算書」

以上の4表をあらわしたものが財務書類と呼ばれ、財務状況確認のための情報でもあります。

### 伊方町 令和元年度決算の財務書類(一般会計等)

# 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表(バランスシート)は、会計年度末に伊方町が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目するこれまでの決算書では表示することができなかった、伊方町の財産や負債など、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

道路や学校など 町が保有する公 共施設の総額。

特定の目的で積 み立てた基金や 出資金などの総 額。

現金・預金と現金化しやすい地方税などの未収金の総額。

			単位:(千円)
借方		貸方	
【資産の部】		【負債の部】	/
有形固定資産	45,047,944	固定負債	9,625,205
<b>/</b> 無形固定資産	30,722	地方債	8,640,855
		退職手当引当金	952,475
投資等	10,310,716	その他	31,875
/ 投資及び出資金	1,330,761		
/ 基金等	8,880,038	流動負債	2,165,082
その他	99,917	1年内償還予定地方債	865,219
		賞与引当金	88,070
		その他	1,211,793
<u></u> 流動資産	6,633,935		
現金・預金	1,784,486	負債合計	11,790,287
未収金	15,149		
基金	4,834,000	【純資産の部】	J
その他	300	純資産合計	50,233,030
資産 合計	62,023,317	負債+純資産 合計	62,023,317

#### 貸借対照表を住民1人あたりに換算すると・・・ **6**2 単位: (万円) 所有している土地や 建物、車など 106 600 約495万円 将来支払わなければ ならないお金 ローンの残高等 有価証券や定期預金等 約130万円 495 約113万円 400 純資産二 すでに支払ったお金 551 土地や建物の購入の 現金や普通預金等 200 ための親からの援助 約73万円 金や、自己資金等 113 約551万円 100 73 現在保有している 借方 貸方 資産の総額 ■流動資産 投資等 ■有形固定資産等 約681万円 ■流動負債 固定負債

### ~貸借対照表の主な分析指標~

#### 流動比率

翌年度支払い予定の負債額に対して、すぐに支払いに充てることの出来る現金・預金がどのぐらいあるのかを示す指標です。(流動比率=流動資産÷流動負債)

伊方町の流動比率 = 306.4% [前年度: 313.4%]

#### 純資産比率

現在所有している資産について、現世代でどのくらい既に 支払ってしまっているかを示す指標です。 (純資産比率=純資産÷資産総額)

伊方町の純資産比率 = 81.0% [前年度: 80.1%]

### 行政コスト計算書

行政サービスを提供する際に発生する支出とその対価として得られた収入が計上され、差額が行政サービスの提供にかかった費用となります。ここでは、資産の取得(土地や建物の購入等)の支出や税金や国・県からの補助金等などの収入は除かれています。

職員給与のほかに、 賞与引当金や退職手 当引当金の繰入額が 計上されます。

地方債の残高や退

職手当などの総額。

将来世代が負担す

道路や学校等の整

備の財源として受

けた国や県からの

補助金や地方税な

これまでの世代が

負担してきた金額。

どの総額。

る金額。

物件費のほかに、施設の維持補修費や減価償却費が計上されます。

その他のコストには 支払利息などが計上 されます。

単位:(千円) 金額 経常費用 7.738.888 人にかかるコスト 1,575,507 物にかかるコスト 3,423,196 移転支出的なコスト 2,627,980 その他のコスト 112.205 経常収益 488.851 使用料•手数料 91,636 その他 397,215 純経常行政コスト 7.250.037 臨時損失 226.308 臨時利益 4,299 純行政コスト 7,472,046

移転支出的なコスト には社会保障の給付 や他会計への繰出金 等が計上されます。

行政サービスの直接 の対価である使用 料・手数料と財産収 入を経常収益として 計上します。





本年度末の残高





50.233.030



# 資金収支計算書

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したのかを表しています。現金の使いみちによって3つの区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったのかが分かります。

	単位:(千円)
前年度末の残高	894,634
業務活動収支	1,553,324
投資活動収支	△ 1,177,263
財務活動収支	△ 644,751
本年度の資金変動額	△ 268,690
本年度末の残高	625,944

前年度末歳計外現金残高 993,750 本年度歳計外現金増減額 164,792 本年度末歳計外現金残高 1,158,542 本年度末現金預金残高 1,784,486

#### 業務活動収支

行政サービスの提供で必要となる人件費や物件費な どの支出と税収などによる収入が計上されます。

#### 投資活動収支

道路や施設の取得のために支出した金額とその財源となった補助金などが計上されています。

#### 財務活動収支

支出には地方債の償還額が、収入には地方債発行による収入等が計上されます。

# 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。

純資産の増加要因には、行政サービスの対価として 支払われる収入以外の税収や国・県からの補助金等 などがあり、減少要因には、行政コスト計算書で算 出される純行政コスト等が計上されます。

	単位:(千円)
前年度末の残高	49,977,881
純行政コスト	△ 7,472,046
財源	7,700,599
資産評価差額	0
その他	26,596

純資産が昨年度よりも増加した場合は、負債の増加より資産の増加のほうが多かったことを示しています。逆に純資産が減少した場合は、行政コストが多くかかっていたり、資産の増加より負債の増加が多かったことを示しています。

# 一般会計等 貸借対照表

(令和02年3月31日現在)

£l □	<b></b>	<b>₹</b> √ □	(単位:円) 金額
科目	金額	科目	立祖
【資産の部】	EE 000 000 777	【負債の部】	0.605.005.050
固定資産	55,389,382,777		9,625,205,056
有形固定資産	45,047,943,699		8,640,854,828
事業用資産	19,767,149,629		
土地	6,425,491,331	·— · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	952,475,000
立木竹	_	損失補償等引当金	-
建物	29,028,430,608	• .—	31,875,228
建物減価償却累計額	△ 16,629,381,929	流動負債	2,165,081,798
工作物	758,399,419	1年内償還予定地方債	865,219,218
工作物減価償却累計額	△ 301,064,000	未払金	-
船舶	_	未払費用	-
船舶減価償却累計額	_	前受金	_
浮標等	_	前受収益	_
浮標等減価償却累計額	_	賞与等引当金	88,069,741
航空機	_	預り金	1,158,542,203
航空機減価償却累計額	_	その他	53,250,636
が上版版画質が来り観	_	負債合計	11,790,286,854
その他減価償却累計額	_	【純資産の部】	, , 55,255,004
建設仮勘定	485,274,200		60,223,682,436
建設収倒足 インフラ資産	24,963,952,374		△ 9,990,652,693
インノフ真座 土地	24,963,952,374 190,519,374		
建物建物	734,811,070 ^ 497,554,740		
建物減価償却累計額	△ 497,554,740		
工作物	53,477,064,340		
工作物減価償却累計額	△ 29,232,776,255		
その他	<b>-</b>		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	291,888,585		
物品	2,376,500,671		
物品減価償却累計額	△ 2,059,658,975		
無形固定資産	30,721,820		
ソフトウェア	30,721,820		
その他	<b> </b>		
投資その他の資産	10,310,717,258		
投資及び出資金	1,330,761,243		
有価証券	<u> </u>		
出資金	735,909,443		
その他	594,851,800		
投資損失引当金			
長期延滞債権	63,436,996		
長期貸付金	39,640,000		
基金	8,880,038,379		
本立 減債基金			
減損基立 その他	8,880,038,379		
その他	<i>5,555,579</i>		
せい他 徴収不能引当金	_ △ 3,159,360		
流動資産 現今語今	6,633,933,820		
現金預金	1,784,485,946		
未収金	16,078,587		
短期貸付金	300,000		
基金	4,833,999,659		
財政調整基金	3,975,018,767		
減債基金	858,980,892		
棚卸資産	<b> </b>		
その他	<b> </b>		
徴収不能引当金	△ 930,372	純資産合計	50,233,029,743
資産合計	62,023,316,597	負債及び純資産合計	62,023,316,597
F 17— C 2.	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		, ,-:-,-

# 一般会計等 行政コスト計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

	(単位:円)
科目	金額
経常費用	7,738,888,295
業務費用	5,110,908,685
人件費	1,575,507,465
職員給与費	1,363,912,853
賞与等引当金繰入額	88,069,741
退職手当引当金繰入額	_
その他	123,524,871
物件費等	3,423,196,589
物件費	1,492,143,047
維持補修費	122,433,115
減価償却費	1,808,620,427
その他	_
その他の業務費用	112,204,631
支払利息	67,050,539
徴収不能引当金繰入額	7,935,707
その他	37,218,385
移転費用	2,627,979,610
補助金等	1,574,105,975
社会保障給付	507,099,629
他会計への繰出金	544,712,076
その他	2,061,930
経常収益	488,851,068
使用料及び手数料	91,636,349
その他	397,214,719
純経常行政コスト	7,250,037,227
臨時損失	226,308,157
災害復旧事業費	216,873,576
資産除売却損	1,652,400
投資損失引当金繰入額	_
損失補償等引当金繰入額	_
その他	7,782,181
臨時利益	4,298,896
資産売却益	4,298,896
その他	_
純行政コスト	7,472,046,488

### 一般会計等 純資産変動計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	
前年度末純資産残高	49,977,880,562	60,495,593,857	△ 10,517,713,295	
純行政コスト(△)	△ 7,472,046,488		△ 7,472,046,488	
財源	7,700,599,051		7,700,599,051	
税収等	5,796,654,705		5,796,654,705	
国県等補助金	1,903,944,346		1,903,944,346	
本年度差額	228,552,563		228,552,563	
固定資産等の変動(内部変動)		△ 296,702,711	296,702,711	
有形固定資産等の増加		1,201,017,407	△ 1,201,017,407	
有形固定資産等の減少		△ 1,809,237,131	1,809,237,131	
貸付金・基金等の増加		1,010,277,834	△ 1,010,277,834	
貸付金・基金等の減少		△ 698,760,821	698,760,821	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	△ 6,268,808	△ 6,268,808		
その他	32,865,426	31,060,098	1,805,328	
本年度純資産変動額	255,149,181	△ 271,911,421	527,060,602	
本年度末純資産残高	50,233,029,743	60,223,682,436	△ 9,990,652,693	

### 一般会計等 資金収支計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	5,927,969,995
業務費用支出	3,299,990,385
人件費支出	1,579,458,719
物件費等支出	1,616,228,562
支払利息支出	67,050,539
その他の支出	37,252,565
移転費用支出	2,627,979,610
補助金等支出	1,574,105,975
社会保障給付支出	507,099,629
他会計への繰出支出	544,712,076
	2,061,930
その他の支出	· · · · ·
業務収入	6,705,982,875
税収等収入	5,801,927,340
国県等補助金収入	593,723,828
使用料及び手数料収入	91,369,649
その他の収入	218,962,058
臨時支出 <i>《京传</i> 』末秋	216,873,576
災害復旧事業費支出	216,873,576
その他の支出	-
臨時収入	992,184,552
業務活動収支	1,553,323,856
【投資活動収支】	0 4 0 0 0 0 0 0 0
投資活動支出	2,162,228,829
公共施設等整備費支出	1,175,799,839
基金積立金支出	976,933,990
投資及び出資金支出	8,655,000
貸付金支出	840,000
その他の支出	_
投資活動収入	984,965,557
国県等補助金収入	318,035,966
基金取崩収入	661,945,297
貸付金元金回収収入	68,694
資産売却収入	4,915,600
その他の収入	_
投資活動収支	△ 1,177,263,272
【財務活動収支】	
財務活動支出	932,950,927
地方債償還支出	881,097,031
その他の支出	51,853,896
財務活動収入	288,200,000
地方債発行収入	288,200,000
その他の収入	_
財務活動収支	△ 644,750,927
本年度資金収支額	△ 268,690,343
前年度末資金残高	894,634,086
本年度末資金残高	625,943,743
ᆇᄼᇠᆉᄹᅴᆝᄱᄾᅓᅕ	000 740 770
前年度末歳計外現金残高	993,749,778
本年度歳計外現金増減額	164,792,425
本年度末歳計外現金残高	1,158,542,203
本年度末現金預金残高	1,784,485,946

#### 1. 重要な会計方針

- (1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法
  - ① 有形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・ 取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・・・・再調達原価

#### (2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく 低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が 30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

#### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

なし

#### (4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年 ~ 50年

工作物 10年 ~ 80年

物品 2年 ~ 15年

- ② 無形固定資産(リース資産を除く)・・・・・・・定額法 (ソフトウェアについては、見込利用期間 (5年) に基づく定額法によっています。)
- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産(リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。)

・・・・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

#### (5) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

なし

#### ② 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去 5 年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

#### ③退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給 された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した 額を控除した額を計上しています。

#### ④損失補償等引当金

なし

#### ⑤賞与等引当金

翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

#### (6) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

#### (7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金(手許現金及び要求払預金)及び現金同等物(伊方町資金管理方針において、歳計現金等の保 管方法として規定した預金等をいいます。)

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

- (8) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項
  - ① 出納整理期間

当会計年度に係る出納整理期間(令和2年4月1日~5月31日)の現金出納に関する取引を当会計 年度の取引に含めています。

- ② 消費税及び地方消費税の会計処理 税込方式によっています。
- ③ 物品及びソフトウェアの計上基準 物品については、取得価額又は見積価格が50万円(美術品は300万円)以上の場合に資産として 計上しています。ソフトウェアについても、原則として物品の取扱いに準じています。
- ④ 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、原則として金額が60万円未満であるときに、修繕費として処理しています。ただし、実施した工事の性質により、原状回復と判断された工事については金額によらず修繕費として処理しています。

#### 2. 重要な会計方針の変更等

(1) 会計方針の変更

なし

#### (2) 表示方法の変更

なし

#### (3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

#### 3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

なし

#### (2) 組織・機構の大幅な変更

なし

#### (3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

(4) 重大な災害等の発生

なし

#### 4. 偶発債務

(1) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

(2) その他主要な偶発債務

なし

#### 5. 追加情報

- (1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項
  - ①一般会計等財務書類の対象範囲は次の通りです。
  - 一般会計

学校給食特別会計

- ②地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。
- ③表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。
- ④地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の状況

将来負担比率・・・・・・・・・・・・・ - %

- ⑤利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額 なし
- ⑥過年度修正等に関する事項 なし

#### (2)貸借対照表に係る事項

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく将来負担比率の算定要素

#### (3) 行政コスト計算書に係る事項

なし

#### (4) 純資産変動計算書に係る事項

①固定資産形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

②余剰分(不足分)

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

#### (5) 資金収支計算書に係る事項

①基礎的財政収支

758,100 千円

#### ②既存の決算情報との関連性

	収入(歳入)	支出(歳出)
歳入歳出決算書	9,843,749千円	9,217,889千円
財務書類の対象となる会計の範囲に伴う差額	25,512千円	25,429千円
繰越金のうち前年度歳入歳出差引額に伴う差額	△894,634千円	0千円
繰越金のうち歳計剰余金処分による基金積立に伴う差額	0千円	0千円
翌年度繰上げ充用金に伴う差額	0千円	0千円
相殺消去に伴う差額	△3,294千円	△3,294千円
資金収支計算書	8,971,333千円	9,240,023千円

地方自治法第233条第1項に基づく歳入歳出決算書は「一般会計」を対象範囲としているのに対し、資金収支計算書は「一般会計等」を対象としているため、歳入歳出決算書と資金収支計算書は 一部の特別会計の分だけ相違します。

歳入歳出決算書では繰越金を収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ 相違します。

③資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳 資金収支計算書

業務活動収支	1,553,324千円
投資活動収入の国県等補助金収入	318,036千円
未収債権、未払債務等の増加(減少)	259,172千円
減価償却費	△1,808,620千円
賞与等引当金繰入額	△88,070千円
退職手当引当金繰入額	0千円
徴収不能引当金繰入額	△7,936千円
資産除売却益(損)	2,647千円
純資産変動計算書の本年度差額	228,553千円

④重要な非資金取引

なし

# 全体貸借対照表

(令和02年3月31日現在)

			(単位:円)
科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	63,874,251,777	固定負債	10,959,636,088
有形固定資産	54,058,023,160	地方債等	9,115,457,046
事業用資産	20,402,757,646	長期未払金	_
土地	6,468,817,743		1,016,572,000
立木竹	_	損失補償等引当金	_
建物	30,290,088,508		827,607,042
建物減価償却累計額	△ 17,303,459,357	• .—	2,237,330,438
工作物	761,315,419		910,303,954
	△ 301,131,068		9,995,794
工作物減価償却累計額	△ 301,131,000		9,993,794
船舶		未払費用	
船舶減価償却累計額	4 404 000	前受金	_
浮標等	4,401,000		
浮標等減価償却累計額	△ 2,548,799		101,622,772
航空機		預り金	1,158,542,203
航空機減価償却累計額	-	その他	56,865,715
その他	_	負債合計	13,196,966,526
その他減価償却累計額	_	【純資産の部】	
建設仮勘定	485,274,200	固定資産等形成分	68,816,981,195
インフラ資産	32,715,238,027	余剰分(不足分)	△ 11,033,849,660
土地	232,600,499	他団体出資等分	_
建物	879,236,381		
建物減価償却累計額	△ 576,496,571		
工作物	68,051,447,458		
工作物減価償却累計額	△ 36,171,015,938		
その他	6,393,336		
その他減価償却累計額	△ 6,393,336		
建設仮勘定	299,466,198		
物品	3,535,480,541		
物品減価償却累計額	△ 2,595,453,054		
物品减恤負却系訂報 無形固定資産	64,746,740		
ソフトウェア	62,730,740		
その他	2,016,000		
投資その他の資産	9,751,481,877		
投資及び出資金	735,909,443		
有価証券	_		
出資金	735,909,443		
その他	_		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	73,692,272		
長期貸付金	39,640,000		
基金	8,906,133,686		
減債基金	_		
その他	8,906,133,686		
その他	_		
徴収不能引当金	△ 3,893,524		
流動資産	7,105,846,284		
現金預金	2,092,036,847		
未収金	71,604,587		
スペップ	300,000		
基金	4,942,429,418		
基立 財政調整基金	4,083,448,526		
, 減債基金	4,083,448,320 858,980,892		
棚卸資産	1,875,421		
その他	1,443		
徴収不能引当金	△ 2,401,432		
繰延資産	_	純資産合計	57,783,131,535
資産合計	70,980,098,061	負債及び純資産合計	70,980,098,061

# 全体行政コスト計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

	(単位:円)
科目	金額
経常費用	11,189,097,054
業務費用	6,295,249,824
人件費	1,811,521,301
職員給与費	1,574,186,601
賞与等引当金繰入額	103,934,920
退職手当引当金繰入額	-
その他	133,399,780
物件費等	4,325,847,519
物件費	1,996,991,591
維持補修費	132,413,065
減価償却費	2,196,112,023
その他	330,840
その他の業務費用	157,881,004
支払利息	69,815,345
徴収不能引当金繰入額	10,599,578
その他	77,466,081
移転費用	4,893,847,230
補助金等	4,383,366,889
社会保障給付	507,099,629
その他	3,380,712
経常収益	1,154,875,053
使用料及び手数料	337,427,700
その他	817,447,353
純経常行政コスト	10,034,222,001
臨時損失	227,743,038
災害復旧事業費	216,873,576
資産除売却損	1,652,400
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	_
その他	9,217,062
臨時利益	4,301,196
資産売却益	4,298,896
その他	2,300
純行政コスト	10,257,663,843

### 全体純資産変動計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	57,668,529,554	69,336,974,256	△ 11,668,444,702	_
純行政コスト(△)	△ 10,257,663,843		△ 10,257,663,843	
財源	10,345,669,206		10,345,669,206	_
税収等	6,769,021,438		6,769,021,438	
国県等補助金	3,576,647,768		3,576,647,768	
本年度差額	88,005,363		88,005,363	_
固定資産等の変動(内部変動)		△ 536,129,351	536,129,351	
有形固定資産等の増加		1,354,975,783	△ 1,354,975,783	
有形固定資産等の減少		△ 2,196,728,727	2,196,728,727	
貸付金・基金等の増加		1,033,208,239	△ 1,033,208,239	
貸付金・基金等の減少		△ 727,584,646	727,584,646	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	△ 6,268,808	△ 6,268,808		
他団体出資等分の増加	_			-
他団体出資等分の減少	_			_
その他	32,865,426	22,405,098	10,460,328	
本年度純資産変動額	114,601,981	△ 519,993,061	634,595,042	
本年度末純資産残高	57,783,131,535	68,816,981,195	△ 11,033,849,660	_

### 全体資金収支計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

	(単位:口)
科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	8,981,707,363
業務費用支出	4,087,860,133
人件費支出	1,813,522,019
物件費等支出	2,131,387,896
支払利息支出	69,815,345
その他の支出	73,134,873
移転費用支出	4,893,847,230
補助金等支出	4,383,366,889
社会保障給付支出	507,099,629
その他の支出	3,380,712
業務収入	9,893,255,773
税収等収入	6,713,800,209
国県等補助金収入	2,260,427,250
使用料及び手数料収入	337,161,000
その他の収入	581,867,314
での他の収入 臨時支出	216,919,457
	216,873,576
災害復旧事業費支出	, ,
その他の支出	45,881
臨時収入	992,184,552
業務活動収支	1,686,813,505
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,309,609,573
公共施設等整備費支出	1,331,722,652
基金積立金支出	977,046,921
投資及び出資金支出	_
貸付金支出	840,000
その他の支出	, –
投資活動収入	1,018,290,557
国県等補助金収入	351,360,966
基金取崩収入	661,945,297
基金取朋权八 貸付金元金回収収入	
	68,694
資産売却収入	4,915,600
その他の収入	-
投資活動収支	△ 1,291,319,016
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,002,379,153
地方債等償還支出	948,708,930
その他の支出	53,670,223
財務活動収入	337,800,000
地方債等発行収入	337,800,000
その他の収入	_
財務活動収支	△ 664,579,153
本年度資金収支額	△ 269,084,664
前年度末資金残高	1,202,579,308
本年度末資金残高	933,494,644
<u> </u>	<del>Შ</del> ᲐᲐ,4₹4,044
前年度末歳計外現金残高	993,749,778
本年度歲計外現金増減額	164,792,425
	1,158,542,203
本年度末歳計外現金残高	2,092,036,847
本年度末現金預金残高	Z,U3Z,U30,64 <i>/</i>

#### 1. 重要な会計方針

- (1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法
  - ① 有形固定資産・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・再調達原価 ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの ・・・・・・・・ 取得原価

取得原価が不明なもの ・・・・・・・・・・・ 再調達原価

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

#### (2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく 低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が 30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

- (3) 有形固定資産等の減価償却の方法
  - ① 有形固定資産(リース資産を除く)・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年 ~ 50年

工作物 10年~80年

物品 2年~15年

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

- ② 無形固定資産(リース資産を除く)・・・・・・・定額法 (ソフトウェアについては、見込利用期間(5年)に基づく定額法によっています。) 法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。
- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産(リース期間が1年以内のリース取引 及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除き ます。)

・・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法 法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

#### (4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

なし

#### ② 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去 5 年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

#### ③退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給 された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した 額を控除した額を計上しています。

④損失補償等引当金

なし

#### ⑤賞与等引当金

翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

#### (5) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

#### (6) 資金収支計算書における資金の範囲

現金(手許現金及び要求払預金)及び現金同等物(伊方町資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。)

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

#### (7)消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。 ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

#### 2. 重要な会計方針の変更等

(1) 会計方針の変更

なし

#### (2) 表示方法の変更

介護保険特別会計を介護保険特別会計(保険事業勘定)、介護サービス特別会計を 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)へと表記変更しています。

(3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

#### 3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

なし

#### (2)組織・機構の大幅な変更

なし

#### (3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

#### (4) 重大な災害等の発生

なし

#### 4. 偶発債務

(1) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

#### (2) その他主要な偶発債務

なし

#### 5. 追加情報

#### (1)全体財務書類の対象範囲

全体財務書類の対象範囲については、一般会計等財務書類の対象範囲に下記会計を含みます。

団体名	連結方法	比例連結割合
水道事業会計	全部連結	-
風力発電事業特別会計	全部連結	-
港湾整備事業特別会計	全部連結	-
国民健康保険特別会計(事業勘定)	全部連結	-
国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)	全部連結	-
後期高齢者医療保険特別会計	全部連結	-
介護保険特別会計(保険事業勘定)	全部連結	-
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	全部連結	-

#### (2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

#### (3) 表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

# 連結貸借対照表

(令和02年3月31日現在)

	A +=		(単位:円)
科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	65,848,695,293		11,906,612,972
有形固定資産	56,198,585,476		9,197,477,758
事業用資産	21,224,678,702	長期未払金	-
土地	6,855,132,767	退職手当引当金	1,186,387,333
立木竹	_	損失補償等引当金	_
建物	30,794,689,178	その他	1,522,747,881
建物減価償却累計額	△ 17,503,364,424	流動負債	2,345,059,367
工作物	1,003,597,836	1年内償還予定地方債等	917,834,307
工作物減価償却累計額	△ 424,431,150		49,369,975
船舶		未払費用	21,986,062
船舶減価償却累計額	_	前受金	
浮標等	4,401,000		_
ディック	△ 2,548,799		129,024,781
新空機 航空機	<u> </u>	買り金	1,165,004,681
			61,839,561
航空機減価償却累計額	_	その他	
その他	_	負債合計	14,251,672,339
その他減価償却累計額	407.000.000	【純資産の部】	70 000 040 055
建設仮勘定	497,202,294		70,826,043,386
インフラ資産	33,774,634,350		△ 11,648,082,269
土地	281,988,937		_
建物	1,010,012,458		
建物減価償却累計額	△ 655,571,097		
工作物	69,476,723,161		
工作物減価償却累計額	△ 36,921,744,757		
その他	6,393,336		
その他減価償却累計額	△ 6,393,336		
建設仮勘定	583,225,648		
物品	4,762,197,266		
物品減価償却累計額	△ 3,562,924,842		
無形固定資産	253,936,394		
ソフトウェア	62,754,966		
その他	191,181,428		
投資その他の資産	9,396,173,423		
投資での他の資産 投資及び出資金	153,039,331		
	155,059,551		
有価証券	100 404 440		
出資金	129,434,443		
その他	23,604,888		
投資損失引当金			
長期延滞債権	73,771,223		
長期貸付金	39,640,000		
基金	9,131,873,568		
減債基金	_		
その他	9,131,873,568		
その他	1,746,000		
徴収不能引当金	△ 3,896,699		
流動資産	7,580,938,163		
現金預金	2,259,701,881		
未収金	257,589,720		
短期貸付金	300,000		
基金	4,977,048,093		
財政調整基金	4,118,067,201		
減債基金	858,980,892		
棚卸資産	27,800,421		
その他	61,129,853		
<b>徴収不能引当金</b>	△ 2,631,805		== ,
<b>操延資産</b>	-	純資産合計	59,177,961,117
資産合計	73,429,633,456	負債及び純資産合計	73,429,633,456

## 連結行政コスト計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

経常費用 7,239,123,500 人件費 2,238,427,216 職員給与費 1,918,168,780 遺与等引当金繰入額 129,039,609 退職手当引当金繰入額 129,039,609 退職手当引当金繰入額 129,039,609 地件費等 4,785,494,323 物件費 2,148,274,512 維持補修費 132,816,964 減価償却費 2,307,575,539 その他 196,827,308 その他の業務費用 215,201,961 支払利息 69,990,201 徴収不能引当金繰入額 10,832,513 その他 134,379,247 移転費用 6,283,078,566 補助金等 5,758,907,090 社会保障給付 507,114,834 その他 17,056,642 経常収益 17,01,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 3,067,592 投資損失引当金繰入額 4,248,896		(単位:円 <i>)</i>
業務費用       7,239,123,500         人件費       2,238,427,216         職員給与費       1,918,168,780         賞与等引当金繰入額       129,039,609         退職手当引当金繰入額       -         その他       191,218,827         物件費等       4,785,494,323         物件費       2,148,274,512         維持補修費       132,816,964         減価償却費       2,307,575,539         その他       196,827,308         その他の業務費用       215,201,961         支払利息       69,990,201         徴収不能引当金繰入額       10,832,513         その他       134,379,247         移転費用       6,283,078,566         補助金等       5,758,907,090         社会保障給付       507,114,834         その他       1,701,232,442         使用料及び手数料       454,242,049         その他       1,246,990,393         純経常行政コスト       11,820,969,624         臨時損失       229,158,230         災害復旧事業費       216,873,576         資産除売却損       3,067,592         投資損失補償等引当金繰入額       -         その他       9,217,062         臨時利益       6,966,464         資産売却益       4,298,896         その他       6,966,464         資産	科目	金額
人件費       2,238,427,216         職員給与費       1,918,168,780         賞与等引当金繰入額       129,039,609         退職手当引当金繰入額       -         その他       191,218,827         物件費等       4,785,494,323         物件費       2,148,274,512         維持補修費       132,816,964         減価償却費       2,307,575,539         その他       215,201,961         支払利息       69,990,201         徴収不能引当金繰入額       10,832,513         その他       134,379,247         移転費用       6,283,078,566         補助金等       5,758,907,090         社会保障給付       507,114,834         その他       1,701,232,442         使用料及び手数料       454,242,049         その他       1,246,990,393         純経常行政コスト       11,820,969,624         臨時損失       229,158,230         災害復旧事業費       3,067,592         投資損失引当金繰入額       -         その他       9,217,062         臨時利益       6,966,464         資産売却益       4,298,896         その他       9,217,062         臨時利益       6,966,464         資産売却益       4,298,896         その他       2,667,568	経常費用	13,522,202,066
職員給与費 賞与等引当金繰入額 退職手当引当金繰入額 その他 特費 物件費 維持補修費 流価償却費 その他 その他の業務費用 支払利息 後収不能引当金繰入額 その他 移転費用 も,2307,575,539 その他 移取不能引当金繰入額 その他 移転費用 も,283,078,566 補助金等 その他 経常収益 使用料及び手数料 その他 経常収益 使用料及び手数料 その他 担,246,990,393 純経常行政コスト を時損失 の性 を1,701,232,442 使用料及び手数料 その他 も1,701,232,442 使用料及び手数料 その他 も1,246,990,393 純経常行政コスト を11,820,969,624 を開損失 後達保障針 その他 も1,246,990,393 神経常行政コスト も1,820,969,624 を1,246,990,393 神経常行政コスト も1,820,969,624 を1,246,990,393 神経常行政コスト も1,820,969,624 を1,246,990,393 神経常行政コスト も1,820,969,624 を1,246,990,393 神経常行政コスト も2,246,75,576 後産除売却損 投資損失引当金繰入額 その他 り,217,062 を1,98,986 その他 り,217,062 を1,98,986 その他 り,217,062 を1,98,986 その他 り,217,062 を1,98,986 その他 り,217,062 を1,98,986 その他 り,217,062 を1,98,986 その他 り,217,062 を1,98,986 その他	業務費用	7,239,123,500
貫与等引当金繰入額 退職手当引当金繰入額 その他 特特等 4,785,494,323 物件費 2,148,274,512 維持補修費 332,816,964 減価償却費 その他 その他の業務費用 支払利息 での他 第収不能引当金繰入額 その他 第43,379,247 移転費用 6,283,078,566 補助金等 大5,758,907,090 社会保障給付 その他 17,056,642 経常収益 使用料及び手数料 その他 17,056,642 経常収立 使用料及び手数料 その他 12,46,990,393 純経常行政コスト 臨時損失 災害復旧事業費 資産除売却損 投資損失引当金繰入額 損失補償等引当金繰入額 その他 9,217,062 臨時利益 資産売却益 その他 12,9,039,609 191,18,218,827 193,216,873,576 206,873,576 206,873,576 206,873,576 206,873,576 206,873,576 206,874,2836 206,975,684	人件費	2,238,427,216
退職手当引当金繰入額 その他	職員給与費	1,918,168,780
その他 191,218,827	賞与等引当金繰入額	129,039,609
物件費等       4,785,494,323         物件費       2,148,274,512         維持補修費       132,816,964         減価償却費       2,307,575,539         その他       196,827,308         その他の業務費用       215,201,961         支払利息       69,990,201         徴収不能引当金繰入額       10,832,513         その他       134,379,247         移転費用       6,283,078,566         補助金等       5,758,907,090         社会保障給付       507,114,834         その他       1,701,232,442         使用料及び手数料       454,242,049         その他       1,246,990,393         純経常行政コスト       11,820,969,624         臨時損失       229,158,230         災害復旧事業費       216,873,576         資産除売却損       3,067,592         投資損失引当金繰入額       -         その他       9,217,062         臨時利益       6,966,464         資産売却益       4,298,896         その他       2,667,568	退職手当引当金繰入額	-
物件費       2,148,274,512         維持補修費       132,816,964         減価償却費       2,307,575,539         その他       196,827,308         その他の業務費用       215,201,961         支払利息       69,990,201         徴収不能引当金繰入額       10,832,513         その他       134,379,247         移転費用       6,283,078,566         補助金等       5,758,907,090         社会保障給付       507,114,834         その他       1,701,232,442         使用料及び手数料       454,242,049         その他       1,246,990,393         純経常行政コスト       11,820,969,624         臨時損失       229,158,230         災害復旧事業費       3,067,592         投資損失引当金繰入額       -         その他       9,217,062         臨時利益       6,966,464         資産売却益       4,298,896         その他       2,667,568	その他	191,218,827
維持補修費 132,816,964 減価償却費 2,307,575,539 その他 196,827,308 その他の業務費用 215,201,961 支払利息 69,990,201 徴収不能引当金繰入額 10,832,513 その他 134,379,247 移転費用 6,283,078,566 補助金等 5,758,907,090 社会保障給付 507,114,834 その他 17,056,642 経常収益 1,701,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 3,067,592 投資損失引当金繰入額 4 分額 分額 分割	物件費等	4,785,494,323
減価償却費 2,307,575,539 196,827,308 その他 196,827,308 215,201,961 支払利息 69,990,201 徴収不能引当金繰入額 10,832,513 その他 134,379,247 移転費用 6,283,078,566 補助金等 5,758,907,090 社会保障給付 507,114,834 その他 17,056,642 経常収益 1,701,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 投資損失引当金繰入額 216,873,576 資産除売却損 3,067,592 投資損失引当金繰入額 450,066,464 資産売却益 6,966,464 資産売却益 6,966,464 4,298,896 その他 2,667,568	物件費	2,148,274,512
その他の業務費用 215,201,961 支払利息 69,990,201 徴収不能引当金繰入額 10,832,513 その他 134,379,247 移転費用 6,283,078,566 補助金等 5,758,907,090 社会保障給付 507,114,834 その他 17,056,642 経常収益 1,701,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 216,873,576 資産除売却損 3,067,592 投資損失引当金繰入額 -	維持補修費	132,816,964
その他の業務費用 支払利息 (69,990,201 徴収不能引当金繰入額 (10,832,513 その他 移転費用 (6,283,078,566 補助金等 (6,283,078,566 補助金等 (6,283,078,566 (7,090 (7,0) (7,0) (7,0) (7,0) (7,0) (7,0) (7,0) (7,0) (7,0) (7,0) (7,0) (7,	減価償却費	2,307,575,539
支払利息 徴収不能引当金繰入額 その他 移転費用 移転費用 その他 対会保障給付 その他 経常収益 使用料及び手数料 その他 担対してのし を使用料及び手数料 をの他 がはまで行政コスト にはいますが をのし がはまりでは、はいますが をのし がはまりでは、はいますが をのし がはいますが をのし がはいますが をのし がはいますが をのし がはいますが をのし にはいますが をのし にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも にはいますが をのも のも、 にはいますが をのも をのも、 にはいますが をのも、 にはいますが をのも、 のも、 をのも、 にはいますが をのも、 のも、 にはいますが をのも、 のも、 のも、 のも、 にはいますが をのも、 のも、 のも、 のも、 にはいますが をのも、 のも、 のも、 のも、 のも、 のも、 のも、 のも、	その他	196,827,308
徴収不能引当金繰入額 10,832,513 その他 134,379,247 移転費用 6,283,078,566 補助金等 5,758,907,090 社会保障給付 507,114,834 その他 17,056,642 経常収益 1,701,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 12,46,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 216,873,576 資産除売却損 3,067,592 投資損失引当金繰入額 - 損失補償等引当金繰入額 - 損失補償等引当金繰入額 - 長の他 9,217,062 臨時利益 6,966,464 資産売却益 4,298,896 その他 2,667,568	その他の業務費用	215,201,961
その他 134,379,247 移転費用 6,283,078,566 補助金等 5,758,907,090 社会保障給付 507,114,834 その他 17,056,642 経常収益 1,701,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 3,067,592 投資損失引当金繰入額 - 損失補償等引当金繰入額 - 損失補償等引当金繰入額 - 4 損失補償等引当金繰入額 - 5,000 第月五 6,966,464 資産売却益 4,298,896 その他 2,667,568	支払利息	69,990,201
移転費用 6,283,078,566 補助金等 5,758,907,090 社会保障給付 507,114,834 その他 17,056,642 経常収益 1,701,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 協時損失 229,158,230 災害復旧事業費 216,873,576 資産除売却損 3,067,592 投資損失引当金繰入額 - 投資損失補償等引当金繰入額 - その他 9,217,062 臨時利益 6,966,464 資産売却益 4,298,896 その他 2,667,568	徴収不能引当金繰入額	10,832,513
補助金等 社会保障給付 その他 経常収益 使用料及び手数料 その他 1,701,232,442 使用料及び手数料 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 臨時損失 災害復旧事業費 資産除売却損 投資損失引当金繰入額 大の他 1,246,990,393 229,158,230 次事復旧事業費 3,067,592 投資損失引当金繰入額 その他 第大補償等引当金繰入額 その他 のりのである。 のも りのである。 のも りのである。 のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも	その他	134,379,247
社会保障給付 507,114,834 その他 17,056,642 経常収益 1,701,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 216,873,576 資産除売却損 3,067,592 投資損失引当金繰入額 - 投資損失引当金繰入額 - その他 9,217,062 臨時利益 6,966,464 資産売却益 4,298,896 その他 2,667,568	移転費用	6,283,078,566
その他 17,056,642 経常収益 1,701,232,442 使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 216,873,576 資産除売却損 3,067,592 投資損失引当金繰入額 - 投資損失引当金繰入額 - その他 9,217,062 臨時利益 6,966,464 資産売却益 4,298,896 その他 2,667,568	補助金等	5,758,907,090
経常収益 使用料及び手数料 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 資産除売却損 3,067,592 投資損失引当金繰入額 損失補償等引当金繰入額 その他 第,217,062 臨時利益 資産売却益 その他 2,667,568	社会保障給付	507,114,834
使用料及び手数料 454,242,049 その他 1,246,990,393 純経常行政コスト 11,820,969,624 臨時損失 229,158,230 災害復旧事業費 216,873,576 資産除売却損 3,067,592 投資損失引当金繰入額 - 損失補償等引当金繰入額 - 長の他 9,217,062 臨時利益 6,966,464 資産売却益 4,298,896 その他 2,667,568	その他	17,056,642
その他1,246,990,393純経常行政コスト11,820,969,624臨時損失229,158,230災害復旧事業費216,873,576資産除売却損3,067,592投資損失引当金繰入額-損失補償等引当金繰入額-その他9,217,062臨時利益6,966,464資産売却益4,298,896その他2,667,568	経常収益	1,701,232,442
純経常行政コスト11,820,969,624臨時損失229,158,230災害復旧事業費216,873,576資産除売却損3,067,592投資損失引当金繰入額-長林償等引当金繰入額-その他9,217,062臨時利益6,966,464資産売却益4,298,896その他2,667,568	使用料及び手数料	454,242,049
臨時損失229,158,230災害復旧事業費216,873,576資産除売却損3,067,592投資損失引当金繰入額-長本補償等引当金繰入額-その他9,217,062臨時利益6,966,464資産売却益4,298,896その他2,667,568	その他	1,246,990,393
災害復旧事業費216,873,576資産除売却損3,067,592投資損失引当金繰入額-損失補償等引当金繰入額-その他9,217,062臨時利益6,966,464資産売却益4,298,896その他2,667,568	純経常行政コスト	11,820,969,624
資産除売却損3,067,592投資損失引当金繰入額-損失補償等引当金繰入額-その他9,217,062臨時利益6,966,464資産売却益4,298,896その他2,667,568	臨時損失	229,158,230
投資損失引当金繰入額 - 損失補償等引当金繰入額 - テの他 9,217,062 臨時利益 6,966,464 資産売却益 4,298,896 その他 2,667,568	災害復旧事業費	216,873,576
損失補償等引当金繰入額-その他9,217,062臨時利益6,966,464資産売却益4,298,896その他2,667,568	資産除売却損	3,067,592
その他9,217,062臨時利益6,966,464資産売却益4,298,896その他2,667,568	投資損失引当金繰入額	_
臨時利益6,966,464資産売却益4,298,896その他2,667,568	損失補償等引当金繰入額	_
資産売却益4,298,896その他2,667,568	その他	9,217,062
その他 2,667,568	臨時利益	6,966,464
• •	資産売却益	4,298,896
純行政コスト 12,043,161,390	その他	2,667,568
	純行政コスト	12,043,161,390

### 連結純資産変動計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

科目	科目合計		余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	59,059,712,834	71,150,640,834	△ 12,090,928,000	-
純行政コスト(△)	△ 12,043,161,390		△ 12,043,161,390	
財源	12,134,796,014		12,134,796,014	_
税収等	7,653,438,746		7,653,438,746	
国県等補助金	4,481,357,268		4,481,357,268	
本年度差額	91,634,624		91,634,624	-
固定資産等の変動(内部変動)		△ 339,225,532	339,225,532	
有形固定資産等の増加		1,504,942,196	△ 1,504,942,196	
有形固定資産等の減少		△ 2,324,131,139	2,324,131,139	
貸付金・基金等の増加		1,233,329,238	△ 1,233,329,238	
貸付金・基金等の減少		△ 753,365,827	753,365,827	
資産評価差額	-	_		
無償所管換等	△ 6,268,808	△ 6,268,808		
他団体出資等分の増加	_			-
他団体出資等分の減少	_			-
比例連結割合変更に伴う差額	△ 135,911	△ 1,114,203	978,292	-
その他	33,018,378	22,011,095	11,007,283	
本年度純資産変動額	118,248,283	△ 324,597,448	442,845,731	_
本年度末純資産残高	59,177,961,117	70,826,043,386	△ 11,648,082,269	-

### 連結資金収支計算書

自 平成31年4月1日 至 令和02年3月31日

(単位:円)

2,259,701,881

	(単位:円)
科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	11,253,835,089
業務費用支出	4,970,756,523
人件費支出	2,238,666,073
物件費等支出	2,529,291,753
支払利息支出	69,990,201
その他の支出	132,808,496
移転費用支出	6,283,078,566
神助金等支出	5,758,907,090
社会保障給付支出	507,114,834
その他の支出	17,056,642
	12,017,252,725
業務収入	
税収等収入	7,598,217,516
国県等補助金収入	3,165,136,750
使用料及び手数料収入	453,975,349
その他の収入	799,923,110
臨時支出	216,922,457
災害復旧事業費支出	216,873,576
その他の支出	48,881
臨時収入	994,849,820
業務活動収支	1,541,344,999
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,501,833,083
公共施設等整備費支出	1,474,468,688
基金積立金支出	1,014,537,610
投資及び出資金支出	_
貸付金支出	840,000
その他の支出	11,986,785
投資活動収入	1,221,668,880
国県等補助金収入	526,693,289
基金取崩収入	687,565,297
貸付金元金回収収入	68,694
資産売却収入	4,915,600
その他の収入	2,426,000
投資活動収支	△ 1,280,164,203
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,014,653,691
地方債等償還支出	956,181,788
その他の支出	58,471,903
財務活動収入	389,784,000
地方债等発行収入	389,784,000
その他の収入	_
財務活動収支	△ 624,869,691
本年度資金収支額	△ 363,688,895
前年度末資金残高	1,462,465,609
比例連結割合変更に伴う差額	813,486
本年度末資金残高	1,099,590,200
1 1 (A) 1 (A) 1 (A) 1 (B)	.,555,555,256
前年度末歳計外現金残高	995,567,401
本年度歲計外現金增減額	164,544,280
本午度級計外現金項級領本年度末歲計外現金残高	1,160,111,681
个十尺个成山 / 5.5元 十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	0.050.701.001

本年度末現金預金残高

#### 1. 重要な会計方針

- (1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法
  - ① 有形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・再調達原価 ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・ 取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの ・・・・・・・・ 取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・・・・・・・再調達原価

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

#### (2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・ 財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく 低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が 30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

- (3) 有形固定資産等の減価償却の方法
  - ① 有形固定資産(リース資産を除く)・・・・・・・定額法 なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年 ~ 50年

工作物 10年~80年

物品 2年~15年

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

- ② 無形固定資産(リース資産を除く)・・・・・・・・定額法 (ソフトウェアについては、見込利用期間 (5年) に基づく定額法によっています。) 法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。
- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産(リース期間が1年以内のリース取引 及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除き ます。)

・・・・・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法 法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

#### (4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去 5 年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

②退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給 された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した 額を控除した額を計上しています。

③損失補償等引当金

なし

④賞与等引当金

翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

#### (5) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

#### (6) 資金収支計算書における資金の範囲

現金(手許現金及び要求払預金)及び現金同等物(容易に換金可能であり、かつ、価値変動が僅少なもので、流動性の高い投資をいいます。ただし、一般会計等においては、伊方町資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。)

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

#### (7)消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。
ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

#### 2. 重要な会計方針の変更等

(1) 会計方針の変更

なし

#### (2) 表示方法の変更

なし

#### (3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

#### 3. 重要な後発事象

#### (1) 主要な業務の改廃

なし

#### (2)組織・機構の大幅な変更

なし

#### (3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

#### (4) 重大な災害等の発生

なし

#### 4. 偶発債務

(1) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

#### (2) その他主要な偶発債務

なし

#### 5. 追加情報

#### (1)連結財務書類の対象範囲

連結財務書類の対象範囲については、全体財務書類の対象範囲に下記の団体(会計)を含みます。

団体名	連結方法	比例連結割合
八幡浜地区施設事務組合(一般会計)	比例連結	26.00%
八幡浜地区施設事務組合(消防事業特会)	比例連結	24.70%
八幡浜地区施設事務組合(休日夜間特会)	比例連結	12.60%
八幡浜地区施設事務組合(し尿処理特会)	比例連結	40.00%
八幡浜地区施設事務組合(特養特会)	比例連結	17.76%
八幡浜・大洲地区広域組合(一般会計)	比例連結	11.10%
八幡浜・大洲地区広域組合(拠点特会)	比例連結	8.30%
八幡浜・大洲地区広域組合(基金特会)	比例連結	10.10%
南予水道企業団	比例連結	16.00%
愛媛県市町総合事務組合(消防災害補償)	比例連結	4.10%
愛媛県市町総合事務組合(自治会館管理)	比例連結	12.20%
愛媛県市町総合事務組合(交通災害共済)	比例連結	3.50%
愛媛県市町総合事務組合(議員公務災害)	比例連結	10.10%
愛媛県市町総合事務組合(共通経費)	比例連結	10.50%
愛媛地方税滞納整理機構	比例連結	2.30%
愛媛県後期高齢者医療広域連合	比例連結	0.99%
クリエイト伊方	全部連結	-

連結の方法は次のとおりです。

- ①一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結対象としています。
- ②地方独立行政法人は、全て全部連結の対象としています。
- ③地方三公社は、全て全部連結の対象としています
- ④第三セクター等は、出資割合が50%を超える団体(出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体は含みます。)は、全部連結の対象としています。

#### (2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている団体(会計)においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

#### (3)表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

### 【様式第5号】

# 附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

#### 一般会計等

### (1)資産項目の明細

### ①有形固定資産の明細

#### 平成31年度(令和02年3月31日現在)

(単位:円)

				本年度末残高	本年度末		差引本年度末残高
区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	(A)+(B)-(C)	減価償却累計額	本年度償却額	(D)-(E)
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
事業用資産	36,040,828,540	905,149,922	248,382,904	36,697,595,558	16,930,445,929	671,927,147	19,767,149,629
土地	6,421,086,530	5,021,505	616,704	6,425,491,331	-	-	6,425,491,331
立木竹	_	_	_	_	_	-	_
建物	28,821,876,791	411,014,817	204,461,000	29,028,430,608	16,629,381,929	651,851,302	12,399,048,679
工作物	742,808,019	16,956,400	1,365,000	758,399,419	301,064,000	20,075,845	457,335,419
船舶	-	-	-	-	-	_	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	_	_	_	_	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	_	_
建設仮勘定	55,057,200	472,157,200	41,940,200	485,274,200	-	-	485,274,200
インフラ資産	54,435,419,055	278,661,764	19,797,450	54,694,283,369	29,730,330,995	988,936,917	24,963,952,374
土地	188,129,742	2,389,632	-	190,519,374	-	-	190,519,374
建物	727,319,320	7,943,000	451,250	734,811,070	497,554,740	19,795,771	237,256,330
工作物	53,289,977,208	187,087,132	-	53,477,064,340	29,232,776,255	969,141,146	24,244,288,085
その他	-	-	-	-	-	_	-
建設仮勘定	229,992,785	81,242,000	19,346,200	291,888,585		-	291,888,585
物品	2,318,650,850	57,849,821		2,376,500,671	2,059,658,975	142,366,683	316,841,696
合計	92,794,898,445	1,241,661,507	268,180,354	93,768,379,598	48,720,435,899	1,803,230,747	45,047,943,699

#### ②有形固定資産の行政目的別明細

②有形回足貝座の1								(単位:口)
区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	101,104,107	8,013,912,796	1,273,369,874	634,392,301	3,584,785,776	788,323,098	5,371,261,677	19,767,149,629
土地	12,166,707	3,124,694,355	270,111,408	101,375,825	1,123,771,589	59,322,202	1,734,049,245	6,425,491,331
立木竹	-	-	-	-	_	_	_	_
建物	77,690,120	4,744,926,929	1,000,536,906	532,048,476	1,785,034,037	728,999,878	3,529,812,333	12,399,048,679
工作物	10,286,080	142,531,512	466,560		199,598,150	1,018	104,452,099	457,335,419
船舶	-	-			-	_	_	_
浮標等	-	-	-		-	_	-	-
航空機	-	-	-	-	-	_	-	_
その他	-	-		-	-	_	-	_
建設仮勘定	961,200	1,760,000	2,255,000	968,000	476,382,000	_	2,948,000	485,274,200
インフラ資産	24,529,126,164	2,225,157	6,821	0	390,412,929	0	42,181,303	24,963,952,374
土地	75,109,662	1,469,650	6,821		75,825,419	_	38,107,822	190,519,374
建物	226,664,692	755,507			9,836,130	_	1	237,256,330
工作物	23,944,808,225	-			295,406,380	_	4,073,480	24,244,288,085
その他	-	-	-	-	-	_	-	_
建設仮勘定	282,543,585	_	_	_	9,345,000	_		291,888,585
物品	-	55,498,714	6,463,308	14,034,330	41,126,145	72,725,260	126,993,939	316,841,696
合計	24,630,230,271	8,071,636,667	1,279,840,003	648,426,631	4,016,324,850	861,048,358	5,540,436,919	45,047,943,699

### 【様式第5号】

# <u>附属明細書</u>

1. 貸借対照表の内容に関する明細

### 一般会計等

### (1)資産項目の明細

### ①無形固定資産の明細

#### 平成31年度(令和02年3月31日現在)

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
無形固定資産	47,322,720	16,982,300	0	64,305,020	33,583,200	5,389,680	30,721,820
ソフトウェア	47,322,720	16,982,300	-	64,305,020	33,583,200	5,389,680	30,721,820
その他	_	-	_	-	-	_	-

### ②無形固定資産の行政目的別明細

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
無形固定資産	898,560	2,268,000	9,291,920	0	194,400	5,224,800	12,844,140	30,721,820
ソフトウェア	898,560	2,268,000	9,291,920	-	194,400	5,224,800	12,844,140	30,721,820
その他	-	_	-	_	-	-	-	-

### ③投資及び出資金の明細

#### 市場価枚のたいもののうち連結対象団体(会計)に対するもの

市場価格のないもののうち連結対象団体(会計)に対するもの									(単位:円)
相手先名	出資金額 (貸借対照表計上額) (A)	資産 (B)	負債 (C)	純資産額 (B)-(C) (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A)/(E) (F)	実質価額 (D)×(F) (G)	投資損失引当金 計上額 (H)	(参考)財産に関する 調書記載額
伊方町水道事業会計出資金	594,851,800	2,358,203,810	1,324,334,892	1,033,868,918	890,402,503	66.8%	690,697,505		
(株)クリエイト伊方出資金	4,500,000	100,790,000	36,324,000	64,466,000	10,000,000	45.0%	29,009,700		
八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合出資金	34,759,000	384,669,675	0	384,669,675	381,680,000	9.1%	35,031,265		
南予水道企業団出資金	567,816,000	10,404,217,012	5,006,002,216	5,398,214,796	3,635,771,259	15.6%	843,065,340		
合計	1,201,926,800								

### 市場価格のないもののうち連結対象団体(会計)以外に対するもの

(早1 <u>少</u> :F		(単位	:	F
-----------------	--	-----	---	---

相手先名	出資金額 (A)	資産 (B)	<b>負債</b> (C)	純資産額 (B)-(C) (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A)/(E) (F)	実質価額 (D)×(F) (G)	強制評価減 (H)	貸借対照表計上額 (A)-(H) (I)	(参考)財産に関す る 調書記載額
愛媛県栽培漁業基金出損金	17,596,000	3,096,657,860	24,244,949	3,072,412,911	2,632,200,000	0.7%	20,538,780		17,596,000	
えひめ農林漁業担い手育成公社出損金	6,572,500	1,505,057,576	354,770,718	1,150,286,858	15,000,000	43.8%	504,017,358		6,572,500	
愛媛FC出資金	553,640	198,241,586	96,295,020	101,946,566	308,500,000	0.3%	330,459	223,181	330,459	
愛媛の森林基金出損金	3,855,000	1,093,102,277	1,919,217	1,091,183,060	1,051,130,000	0.4%	4,001,894		3,855,000	
愛媛マンダリンパイレーツ球団出資金	147,784	119,950,678	7,670,336	112,280,342	300,000,000	0.1%	149,707		147,784	
愛媛県スポーツ振興事業団出損金	1,513,250	1,195,264,347	188,106,378	1,007,157,969	750,203,544	0.2%	2,031,558		1,513,250	
愛媛県漁業信用基金協会出資金	4,300,000	287,209,407,772	223,342,105,373	63,867,302,399	43,353,700,000	0.0%	6,334,624		4,300,000	
愛媛県国際交流協会出損金	706,000	1,689,103,403	5,586,293	1,683,517,110	1,638,877,250	0.0%	725,230		706,000	
愛媛県信用保証協会出損金	684,000	190,440,289,452	177,180,651,368	13,259,638,084	13,259,638,084	0.0%	684,000		684,000	
愛媛県農業信用基金協会出資金	6,200,000	180,126,895,217	173,953,938,364	6,172,956,853	3,150,670,000	0.2%	12,147,363		6,200,000	
愛媛県廃棄物処理センター出損金		276,789,784	103,092,907	173,696,877	10,000,000	0.8%	1,389,575			
愛媛県文化振興財団出損金	931,500	1,837,880,886	135,928,018	1,701,952,868	1,517,300,000	0.1%	1,044,862		931,500	
愛媛県暴力追放推進センター出損金	1,968,000	670,582,803	2,353,838	668,228,965	600,000,000	0.3%	2,191,791		1,968,000	
愛媛腎臓バンク出損金	266,000	142,407,673	114,000	142,293,673	123,000,000	0.2%	307,725		266,000	
伊方エコパーク出資金	20,000,000	3,223,564,253	180,471,751	3,043,092,502	200,000,000	10.0%	304,309,250		20,000,000	
伊方原子力広報センター出損金	2,000,000	55,308,501	11,557,570	43,750,931	6,000,000	33.3%	14,583,644		2,000,000	
伊方町社会福祉協議会出損金	6,450,000	168,102,874	29,520,743	138,582,131	15,620,000	41.3%	57,225,016		6,450,000	
宇和島運輸ホールディングス出資金	25,950	732,874,292	1,398,703	731,475,589	10,000,000	0.3%	1,898,179		25,950	
砂防フロンティア整備推進機構出損金	78,000	-207,696,508	-2,121,870	-205,574,638	0			78,000		
三崎ウインドパワー出資金	3,000,000	3,104,610,000	243,398,000	2,861,212,000	30,000,000	10.0%	286,121,200		3,000,000	
瀬戸ウインドヒル出資金	30,000,000	1,222,429,212	364,793,685	857,635,527	300,000,000	10.0%	85,763,553		30,000,000	
地方公共団体金融機構出資金	1,200,000	24,346,700,000,000	24,022,803,000,000	323,897,000,000	16,602,000,000	0.0%	23,411,420		1,200,000	
八西CATV出損金	16,000,000	312,889,167	70,506,860	242,382,307	60,000,000	26.7%	64,635,282		16,000,000	
八西森林組合出資金	5,088,000	115,873,354	48,811,771	67,061,583	18,622,584	27.3%	18,322,341		5,088,000	
合計	129,135,624								128,834,443	

### ④基金の明細

種類	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額	
財政調整基金	3,975,018,767	0	0	0 3,975,018,767		0	
減債基金(固定資産)	0	0	0	0	0	0	
減債基金(流動資産)	858,980,892	0	0	0	858,980,892	0	
土地開発基金	324,856,946		8,558,648		333,415,594		
庁用自動車購入基金	34,066,663				34,066,663		
電源交付金施設維持基金	512,515,009				512,515,009		
地域福祉基金	345,617,459				345,617,459		
中山間ふるさと水と土保全基金	31,317,969				31,317,969		
電源交付金施設維持補修基金	555,735,551				555,735,551		
ふるさとづくり自治活動推進基金	601,267,732						
電源交付金公共用施設維持運営基金	1,614,831,851						
災害対策基金	1,006,398,293			1,006,398,293			
用品調達基金	3,000,000			3,000,000			
愛媛県証紙購入基金	1,000,000				1,000,000		
奨学資金貸付基金	541,000,000				541,000,000		
振興基金	2,493,587,504				2,493,587,504		
地区自治振興基金	162,571,797				162,571,797		
電源交付金地域活性化事業運営基金	60,283,021				60,283,021		
鳥津道路新設基金	232,180,197		232,180,197				
地域商品券発行基金	8,137,500		8,137,500				
森林環境讓与税基金	1,084,239		1,084,239				
上水道重要給水施設等管路耐震化基金	322,028,000				322,028,000		
農林漁業振興基金	20,000,000				20,000,000		
合計	13,705,479,390	0	8,558,648	0	13,714,038,038	0	

## ⑤貸付金の明細

	長期貸	貸付金	短期貨	(参考)	
相手先名または種別	貸借対照表計上額	徴収不能引当金 計上額	貸借対照表計上額	徴収不能引当金 計上額	貸付金計
住宅新築資金等貸付金	38,800,000	0	300,000	0	39,100,000
看護師等修学資金貸付金	840,000	0	0	0	840,000
合計	39,640,000	0	300,000	0	39,940,000

#### ⑥長期延滞債権の明細

(単位:円) ⑦未収金の明細

貸借対照表計上額 徴収不能引当金計上額 相手先名または種別 【未収金】 税等未収金 町民税個人 1,325,397 76,286 町民税法人 1,693,013 固定資産税 51,188,241 2,590,322 軽自動車税 2,433,592 174,497 その他の未収金 保育所負担金 0 公営住宅使用料(一般会計) 4,302,500 318,255 給食費徴収金 2,494,253 小計 63,436,996 3,159,360 合計 63,436,996 3,159,360

相手先名または種別	貸借対照表計上額	徴収不能引当金計上額
【未収金】		
税等未収金		
町民税個人	3,076,592	177,081
町民税法人	100,000	0
固定資産税	8,182,500	414,066
軽自動車税	757,400	54,308
その他の未収金		
保育所負担金	0	0
公営住宅使用料(一般会計)	3,851,800	284,917
給食費徴収金	110,295	0
小計	16,078,587	930,372
合計	16,078,587	930,372

### (2)負債項目の明細

### ①地方債(借入先別)の明細

	273 PK (III) 428911/42 (11)									
種類	地方債残高	うち1年内 償還予定	政府資金	地方公共団体 金融機構	市中銀行	その他の 金融機関	市場公募債	うち共同発行債	うち住民公募債	その他
【通常分】	5,599,904,945	557,237,169	1,922,152,569	197,567,834	3,387,348,051	92,836,491	0	0	0	0
一般公共事業	1,302,180,348	205,811,194	1,279,180,348	0	23,000,000	0	0	0	0	0
公営住宅建設	155,009,571	17,090,740	107,237,126	0	0	47,772,445	0	0	0	0
災害復旧	86,800,000	5,298,145	86,800,000	0	0	0	0	0	0	0
教育•福祉施設	25,278,522	9,280,189	0	0	0	25,278,522	0	0	0	0
一般単独事業	3,379,033,575	252,907,245	0	0	3,359,248,051	19,785,524	0	0	0	0
その他	651,602,929	66,849,656	448,935,095	197,567,834	5,100,000	0	0	0	0	0
【特別分】	3,906,169,101	307,982,049	3,503,878,677	299,550,375	85,563,756	17,176,293	0	0	0	0
臨時財政対策債	3,851,921,770	297,043,956	3,488,115,416	278,242,598	85,563,756	0	0	0	0	0
減税補填債	22,160,237	5,537,484	4,983,944	0	0	17,176,293	0	0	0	0
その他	32,087,094	5,400,609	10,779,317	21,307,777	0	0	0	0	0	0
合計	9,506,074,046	865,219,218	5,426,031,246	497,118,209	3,472,911,807	110,012,784	0	0	0	0

### ②地方債(利率別)の明細

(単位:円)

地方債残高	1.5%以下	1.5%超 2.0%以下	2.0%超 2.5%以下	2.5%超 3.0%以下	3.0%超 3.5%以下	3.5%超 4.0%以下	4.0%超	(参考) 加重平均 利率
9, 506, 074, 046	8, 487, 566, 119	826, 458, 971	35, 632, 903	156, 416, 053	0	0	0	

### ③地方債(返済期間別)の明細

(単位:円)

地方債残高	1 年以内	1 年超 2 年以内	2 年超 3 年以内	3 年超 4 年以内	4 年超 5 年以内	5 年超 10年以内	10年超 15年以内	15年超 20年以内	20年超
9, 506, 074, 046	865, 219, 218	902, 227, 311	900, 555, 310	854, 410, 627	821, 316, 760	3, 140, 041, 156	1, 554, 699, 008	438, 916, 932	28, 687, 724

### ④特定の契約条項が付された地方債の概要

特定の契約条項が 付された地方債残高	契約条項の概要

#### ⑤引当金の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度	減少額	本年度末残高
四月	削斗及不残同	<b>本</b> 中 及 培 加	目的使用	その他	<b>本</b> 中及木烷同
投資損失引当金	0	0	0	0	0
徴収不能引当金(固定資産)	3,677,976	7,935,707	8,454,323	0	3,159,360
徴収不能引当金(流動資産)	1,360,217	0	429,845	0	930,372
退職手当引当金	1,130,242,236	0	177,767,236	0	952,475,000
損失補償等引当金	0	0	0	0	0
賞与等引当金	92,020,995	88,069,741	92,020,995	0	88,069,741
合計	1,227,301,424	96,005,448	278,672,399	0	1,044,634,473

#### 2. 行政コスト計算書の内容に関する明細

#### (1)補助金等の明細

(単位:円)

区分	名称	相手先	金額
	県営ストックマネジメント事業(伊方地区)負担金	愛媛県	4,250,000
	県営ストックマネジメント事業(三崎地区)負担金	愛媛県	5,000,000
	県営農業水利施設保全事業(灘地区)負担金	愛媛県	8,500,000
	県営農業水路等長寿命化事業(伊方地区)負担金	愛媛県	4,560,000
他団体への公共施設等整備補助金等	県営農業水路等長寿命化事業(三崎地区)負担金	愛媛県	11,200,00
(所有外資産分)	県営農地耕作条件改善事業(瀬戸第一地区)負担金	愛媛県	11,400,000
	県営畑地帯総合整備事業(川永田地区)負担金	愛媛県	17,500,000
		愛媛県	3,755,333
	県土木建設事業負担金	愛媛県	8,770,262
	計		74,935,595
	高齢者健康増進事業	クリエイト伊方	4,011,600
	推 <b>计</b> 助成金	クリエイト伊方	4,579,100
	断水地域支援業務補助金	クリエイト伊方	527,050
	地域商品券負担金	クリエイト伊方	158,500
	地産地消推進補助金	クリエイト伊方	889,920
	農業振興対策補助	クリエイト伊方	660,000
	防災情報カメラ電気料金負担金	クリエイト伊方	18,414
	過年度療養給付費負担金	愛媛県後期高齢者医療広域連合	187,424
	療養給付費負担金	愛媛県後期高齢者医療広域連合	192,307,963
	議員公務災害補償組合	愛媛県市町総合事務組合(議員公務災害)	25,600
	団員災害補償退職報償組合	愛媛県市町総合事務組合(消防災害補償)	11,995,033
	公共下水道会計繰出金	公共下水道会計	201,188,759
その他の補助金等	診療所職員健康診断負担金	国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)	469,480
	小規模下水道会計繰出金	小規模下水道会計	52,301,351
	水道事業会計補助金	水道事業会計	68,271,000
	特定地域生活排水処理事業特別会計繰出金	特定地域生活排水処理事業特別会計	12,695,736
	広域市町村圏協議会	八幡浜·大洲地区広域組合(一般会計)	385,517
	八幡浜地区施設事務組合負担金	八幡浜地区施設事務組合(し尿処理特会)	59,710,000
	八幡浜地区施設事務組合	八幡浜地区施設事務組合(一般会計)	4,991,000
	一次救急休日夜間診療所事業負担金	八幡浜地区施設事務組合(休日夜間特会)	8,542,000
	派遣職員給与負担金	八幡浜地区施設事務組合(消防事業特会)	8,553,303
	八幡浜地区施設事務組合	八幡浜地区施設事務組合(消防事業特会)	266,765,000
	特養老人ホーム事務組合	八幡浜地区施設事務組合(特養特会)	7,632,000
	その他	その他団体	592,304,630
	計		1,499,170,380
合計			1,574,105,975

#### 3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1)財源の明細 (単位:円)

会計	区分		財源の内容	金額
		地方税		3,032,773,201
		地方消費税清算金		0
		地方譲与税		83,966,008
		利子割交付金		1,095,000
		配当割交付金		3,377,000
		株式等譲渡所	得割交付金	1,981,000
		地方消費税交	付金	167,192,000
		自動車取得税	交付金	14,587,155
		たばこ税		0
	人 税収等	都交付金,道交	付金,府交付金,県交付金	0
		ゴルフ場利用	税交付金	0
		軽油引取税交	付金	0
		国有提供施設等所在市町村助成交付金		0
		地方特例交付金		19,547,000
		地方交付税		2,405,256,000
一般会計等		交通安全対策特別交付金		1,125,000
		分担金及び負担金		43,500,310
		寄付金,寄附金		22,255,031
		繰入金		0
			小計	5,796,654,705
			国庫支出金	255,177,118
		経常的補助金	都道府県等支出金	338,546,710
			計	593,723,828
			国庫支出金	22,400,353
	   国県等補助金	資本的補助金	都道府県等支出金	295,635,613
	白水分開奶並		計	318,035,966
			国庫支出金	561,291,697
		臨時的補助金	都道府県等支出金	430,892,855
			計	992,184,552
		小計		1,903,944,346
		合討	7,700,599,051	

#### (2)財源情報の明細 (単位:円)

ᅜᄼ	<b>△</b> \$5	内訳			
区分	金額	国県等補助金	地方債	税収等	その他
純行政コスト	7,472,046,488	1,585,908,380	276,835,340	3,997,102,804	1,612,199,964
有形固定資産等の増加	1,201,017,407	318,035,966	11,364,660	846,399,213	25,217,568
貸付金・基金等の増加	1,010,277,834	0	0	986,463,170	23,814,664
その他	32,865,426	0	0	0	32,865,426
合計	9,716,207,155	1,903,944,346	288,200,000	5,829,965,187	1,694,097,622

#### 4. 資金収支計算書の内容に関する明細

#### (1)資金の明細

(単位:円)

種類	本年度末残高
現金	625,943,743
合計	625,943,743

# 別添資料

1

# 別添資料 財務書類分析

貸借対照表や行政コスト計算書などの財務書類をさまざまな観点から分析することにより、地方公共団体の財政状況を判断します。分析の手法としては指標・比率分析を用い、貸借対照表・行政コスト計算書に関する分析内容を記載します。なお、分析に当たっての計算式は総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル(令和元年8月改訂)」の「財務書類等活用の手引き」を参考にしています。

# 1. 資産の状況 (総務省「財務書類等活用の手引き」324~327頁)

本節では、資産残高に着目し、将来世代に残る資産、自治体の規模(財政や人口など)に対する 資産の多寡を分析します。

基金のような資産は多いほど余裕があると言えますが、有形固定資産は将来のコストを発生させる要因となりますので、適正なレベルで維持することが重要であると考えられます。

また、資産が形成されてからの時間の経過度合いを示す有形固定資産減価償却率についても分析します。

#### 1-1 住民一人当たり資産額(円)

決算年度末時点で保有している資産の総額を同時点の人口で除し、住民一人当たりの資産額を表します。経年の推移や同規模の地方公共団体での資産量を比較するときに用います。

住民一人当たり資産額 = 資産合計 ÷ 人口

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
住民一人当たり資産額(円)	6,803,786	7,786,321	8,055,028
貸借対照表 資産総額(円)	62,023,316,597	70,980,098,061	73,429,633,456
人口(1月1日時点)(人)	9,116	9,116	9,116

前年度結果(円)	6,638,982	7,617,618	7,845,835
増減(円)	164,804	168,703	209,193

#### 1-2 歳入額対資産比率(年)

増減(%)

決算年度の歳入額と資産残高を比較し、決算年度末時点の規模の資産を整備しようとした場合に何年分の歳入が必要かを表します。これにより、自治体の歳入規模に対する資産の形成度合いを測ることができます。

歳入額対資産比率 = 資産合計 ÷ 歳入総額

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
歳入額対資産比率(年)	6.3	5.3	4.6
貸借対照表 資産総額(円)	62,023,316,597	70,980,098,061	73,429,633,456
歳入総額(円)	9,865,967,070	13,444,110,190	16,086,021,034
前年度結果(年)	6.2	5.2	4.5

# 増減(年) 0.1 0.1 0.1 0.1

#### 1-3 有形固定資産減価償却率(有形固定資産全体)(%)

償却対象資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を求めることで、減価償却の 進行度合いを表現します。数値が高いほど建替えや改修などのコストがかかる時期が近い ことを示します。

有形固定資産減価償却率 = 減価償却累計額 ÷ 償却対象資産の取得価額合計

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
有形固定資産減価償却率(%)	56.4	55.0	55.2
貸借対照表 償却対象資産の取得価額合計(円)	86,375,206,108	103,528,362,643	107,058,014,235
貸借対照表 減価償却累計額(円)	48,720,435,899	56,956,498,123	59,076,978,405
前年度結果(%)	54.9	53.4	53.6

※償却対象資産とは、貸借対照表の「建物」、「工作物」、「船舶」、「浮標」、「航空機」、「その他」「物品」を示す。

1.6

1.6

#### 1-4 資産種類別有形固定資産減価償却率(%)

建物や工作物といった種類(勘定科目)別に有形固定資産減価償却率を表示します。さらに、固定資産台帳を確認することで、個別資産の経過年数が分かりますので、今後の整備方針を策定する際の目安にすることができます。

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
有形固定資産減価償却率 (建物 事業用資産)(%)	57.3	57.1	56.8
有形固定資産減価償却率 (建物 インフラ資産)(%)	67.7	65.6	64.9
有形固定資産減価償却率 (工作物 事業用資産)(%)	39.7	39.6	42.3
有形固定資産減価償却率 (工作物 インフラ資産)(%)	54.7	53.2	53.1
有形固定資産減価償却率 (船舶)(%)	0.0	0.0	0.0
有形固定資産減価償却率 (浮標等)(%)	0.0	57.9	57.9
有形固定資産減価償却率 (航空機)(%)	0.0	0.0	0.0
有形固定資産減価償却率 (その他 事業用資産)(%)	0.0	0.0	0.0
有形固定資産減価償却率 (その他 インフラ資産)(%)	0.0	100.0	100.0
有形固定資産減価償却率 物品(%)	86.7	73.4	74.8

### 2. 資産と負債の比率 (総務省「財務書類等活用の手引き」327~329頁)

現在保有している資産を形成するにあたって、現世代以前の負担額、将来世代の負担額を分析します。ここでいう将来世代の負担とは、貸借対照表の負債をベースとした指標で示しますが、 資産形成度の項でも説明したように、公共施設の維持・更新といった負担もあります。

#### 2-1 純資産比率(%)

資産総額に占める純資産総額の割合を求めます。これが、いわゆる現世代「以前」による 負担割合になります。

### 純資産比率 = 純資産総額 ÷ 資産総額

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
純資産比率(%)	81.0	81.4	80.6
貸借対照表 純資産総額(円)	50,233,029,743	57,783,131,535	59,177,961,117
貸借対照表 資産総額(円)	62,023,316,597	70,980,098,061	73,429,633,456

前年度結果(%)	80.1	80.5	80.1
増減(%)	0.9	0.9	0.5

#### 2-2 社会資本等形成の世代間負担比率(%)

本指標は、将来世代の負担比率を表します。具体的には、有形固定資産及び無形固定資産の総額に対し、これらの資産を整備するために用いられた財源のうち「未払分」(決算翌年度以降に支払う義務があるもの)の割合を指しています。

社会資本等形成の世代間負担比率 = (地方債残高 + 翌年度償還予定地方債残高 - 特例債)÷ (有形固定資産総額 + 無形固定資産総額)

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
社会資本等形成の世代間負担比率 (将来世代負担比率)(%)	12.5	11.4	11.1
地方債残高(円)	8,640,854,828	9,115,457,046	9,197,477,758
翌年度償還予定地方債残高(円)	865,219,218	910,303,954	917,834,307
臨時財政特例債(円)	_	_	-
減税補填債(円)	22,160,000	22,160,000	22,160,000
臨時税収補填債(円)	_	_	-
臨時財政対策債(円)	3,851,922,000	3,851,922,000	3,851,922,000
減収補填債特例分(円)	_	_	-
貸借対照表 有形固定資産総額(円)	45,047,943,699	54,058,023,160	56,198,585,476
貸借対照表 無形固定資産総額(円)	30,721,820	64,746,740	253,936,394

前年度結果(%)	13.4	12.1	11.7
增減(%)	△ 0.9	△ 0.7	△ 0.6

### 3. 負債の状況 (総務省「財務書類等活用の手引き」329~332頁)

決算年度末時点での負債の程度を分析し、今後の財政が健全に推移するかどうかの判断 材料とします。社会情勢や景気動向、国の方針などに左右される部分はありますが、決算年度 までの傾向を知ることによって将来の負担が見えてきます。

ただし、地方公共団体における負債には、交付税措置等によって国が一部負担するものや、負担の公平性の観点から発生したものがあるため、民間企業における負債とは多少異なる意味があります。

## 3-1 住民一人当たり負債額(円)

決算時点での住民一人当たり負債額です。経年の変化や他団体比較を行う際に用います。

住民一人当たり負債額 = 負債総額 ÷ 人口

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
住民一人当たり負債額(円)	1,293,362	1,447,671	1,563,369
貸借対照表 負債総額(円)	11,790,286,854	13,196,966,526	14,251,672,339
人口(1月1日時点)(人)	9,116	9,116	9,116

前年度結果(円)	1,322,186	1,482,668	1,562,887
増減(円)	△ 28,824	△ 34,997	482

<sup>※</sup>前年度は1月1日時点の人口を採用。

#### 3-2 基礎的財政収支(プライマリーバランス)(円)

自治体の基礎的な財政力を示します。具体的には、基本的な地方税や使用料などの収入 及び建設事業に充てられる国や県の支出金の合計と、行政サービスを提供するために必要 な費用及び公共施設などを整備するためにかかる費用を差引し、合計から利息の支払い を除いたものを指します。プラスだと黒字、マイナスなら赤字です。

# 基礎的財政収支 = 業務活動収支 + 投資活動収支 + 基金積立金支出 - 基金取崩収入+支払利息支出

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
基礎的財政収支 (プライマリーバランス)	758,099,816	780,411,458	658,143,310
資金収支計算書 業務活動収支(円)	1,553,323,856	1,686,813,505	1,541,344,999
資金収支計算書 支払利息支出(円)	67,050,539	69,815,345	69,990,201
資金収支計算書 投資活動収支(円)	△ 1,177,263,272	△ 1,291,319,016	△ 1,280,164,203
資金収支計算書 基金積立金支出(円)	976,933,990	977,046,921	1,014,537,610
資金収支計算書 基金取崩収入(円)	661,945,297	661,945,297	687,565,297

前年度結果(円)	1,540,603,215	1,657,954,768	1,564,989,201
増減(円)	△ 782,503,399	△ 877,543,310	△ 906,845,891

# 4. 行政コストの状況 (総務省「財務書類等活用の手引き」332~334頁)

現在の水準の行政サービスを提供する上でかかる経費について考え、行政サービスの効率性を 検証します。

#### 4-1 住民一人当たり行政コスト(円)

行政コスト計算書にて計算される純行政コストについて、住民一人当たりでどれくらいかかっているのかを表します。住民一人当たりにすることで、人口規模の近い団体と比較することが可能となります。

住民一人当たり行政コスト = 純行政コスト ÷ 人口

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
住民一人当たり行政コスト(円)	819,663	1,125,237	1,321,102
行政コスト計算書 純行政コスト(円)	7,472,046,488	10,257,663,843	12,043,161,390
人口(1月1日時点)(人)	9,116	9,116	9,116

前年度結果(円)	797,727	1,099,931	1,281,725
増減(円)	21,936	25,306	39,377

<sup>※</sup>前年度は1月1日時点の人口を採用。

#### 4-2 性質別行政コスト

行政コスト計算書の費用について性質別の割合を示します。他団体や経年比較を行うことで、 自治体の特徴や決算年度の傾向等を把握できます。

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
人件費(%)	19.8	15.9	16.3
物件費等(%)	43.0	37.9	34.8
その他の業務費用(%)	1.4	1.4	1.6
移転費用(%)	33.0	42.9	45.7
その他(%)	2.8	2.0	1.7
合計	100.0	100.1	100.1

<sup>※</sup>端数処理により、合計が100%にならない場合があります。

### 5. 受益者負担の状況 (総務省「財務書類等活用の手引き 335頁)

決算年度中の行政サービスにかかる経費を、使用料や手数料等の直接的な対価でどのくらい 賄っているかを表し、受益者にかかる負担を測ることができます。

#### 5-1 受益者負担比率(%)

行政コスト計算書の経常費用に対して、経常収益が占める割合を指します。

税収などが主たる収入である一般会計は低く、使用料や負担金による独立採算が求められる 法適用企業会計では高くなる傾向があります。

受益者負担割合 = 経常収益 ÷ 経常費用

	一般会計等	地方公共団体 全体	連結
受益者負担割合(%)	6.3	10.3	12.6
行政コスト計算書 経常収益(円)	488,851,068	1,154,875,053	1,701,232,442
行政コスト計算書 経常費用(円)	7,738,888,295	11,189,097,054	13,522,202,066

前年度結果(%)	5.7	9.6	12.0
増減(%)	0.6	0.7	0.5